

令和8年度病虫害発生予察注意報第5号

令和8年7月3日
愛知 県

作物名：野菜類、花き類、ダイズ

病虫害名：シロイチモジヨトウ

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生程度 多い
- 3 注意報発表の根拠

(1) フェロモントラップの直近1か月の総誘殺数が、**現在調査中の全ての地点（5地点）で、平年と比較して多い～やや多い（図）。**

- ・西尾市（ダイズほ場）で304頭（過去7年平均145頭、前年302頭）と、過去7年間と比較して**最も多い**。
- ・田原市（キャベツほ場①）で729頭（過去6年平均355頭、前年312頭）と、過去6年間と比較して**最も多い**（6月以降の総誘殺数）。
- ・田原市（キャベツほ場②）で479頭（過去6年平均291頭、前年292頭）と、過去6年間と比較して**最も多い**（6月以降の総誘殺数）。
- ・長久手市（農総試内）で106頭（過去10年平均33頭、前年69頭）と、過去10年間と比較して**最も多い**。
- ・豊橋市（キャベツほ場）で156頭（過去10年平均111頭、前年74頭）と、過去10年間と比較して3番目に多い（6月以降の総誘殺数）。

(2) 名古屋地方気象台7月2日発表の1か月予報によると、向こう1か月の気温は高いと予想されており、本虫の発生に好適な条件が続く可能性がある。

4 防除上注意すべき事項

- (1) 分散前の幼虫の集団や卵塊は、見つけ次第捕殺する。
- (2) 齢の進んだ幼虫には薬剤効果が低下するため、若齢幼虫のうちに防除する。また一部の殺虫剤（ジアミド系等）に対し感受性の低下を確認しているため、薬剤選択は指導機関に相談する。

参考：農林水産省農薬登録情報提供システム (<https://pesticide.maff.go.jp/>)

- (3) 同系統の薬剤の連用は避け、異なる系統でのローテーション防除を徹底する。
- (4) 施設栽培では成虫の飛び込みに注意し、開口部を防虫ネットで被覆する。
- (5) ほ場周辺の雑草は増殖源になるため除去する。
- (6) **今後もほ場への飛来が続くことが予想されるため、薬剤防除後もこまめにほ場を巡回し、発生状況に注意する。**

5 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病虫害防除室

電話 0561-41-9513

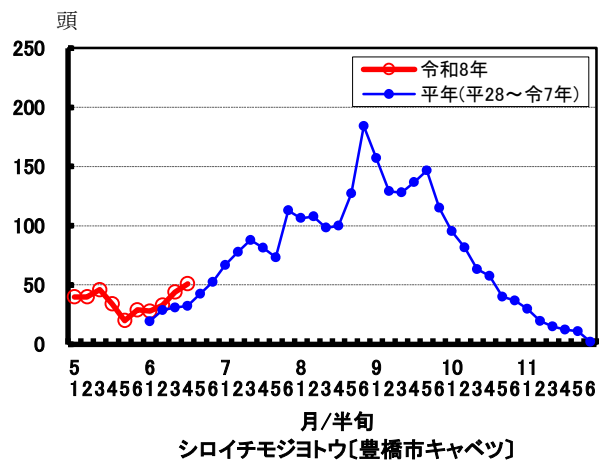
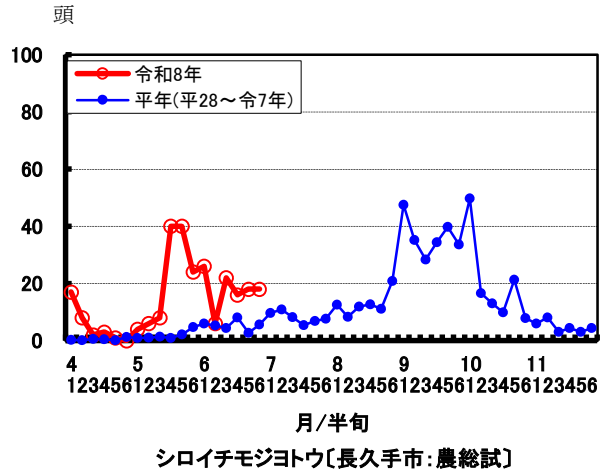
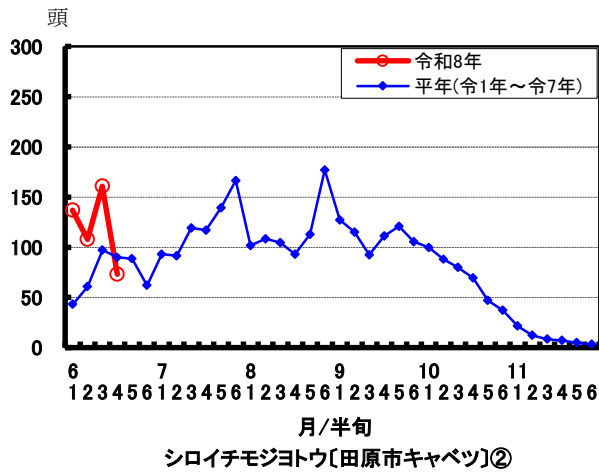
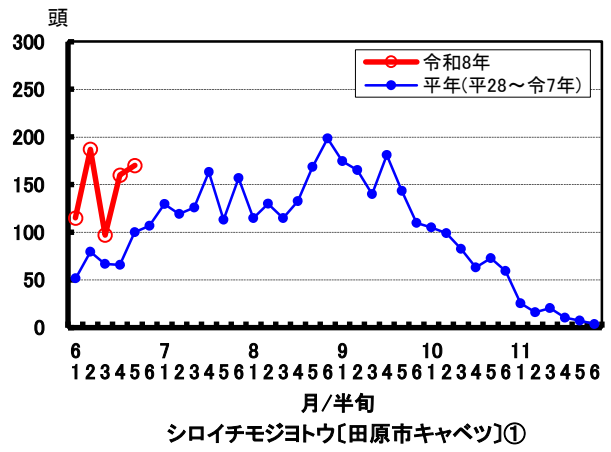
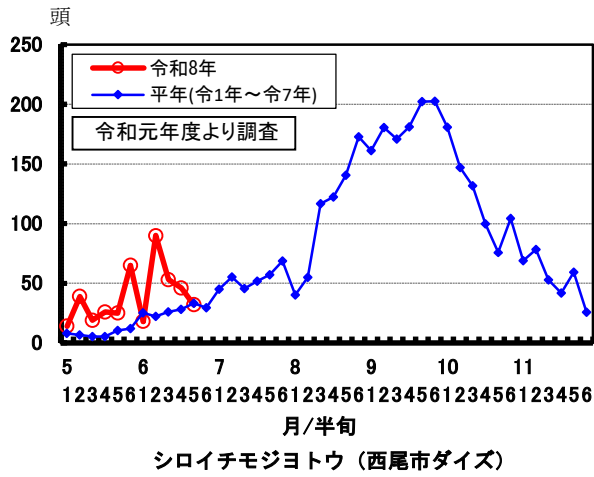


図 フェロモントラップにおけるシロイチモジヨトウ成虫の誘殺数